

第4回 魅力あふれる公園づくり構想策定委員会 議事録

1 日 時

令和5年1月27日（金）午後2時00分～午後4時00分

2 場 所

刈谷市社会教育センター 401 研修室

3 出席した委員 12名

委員長：瀬口哲夫

委 員：杉浦世志朗、永田憲正、稲垣敏雄、深谷光秀、岡田行永、高井智幸、武田正雄、
北川善己（代理：志賀雅樹）、山本純、石原章、岡部直樹

4 欠席した委員 2名

委 員：保田猪三郎、深谷理恵

5 市民公園づくり会議メンバー（各公園代表者） 4名

二段日華里、山口博子、大野裕史、天木敬子

6 欠席した市民公園づくり会議メンバー（各公園代表者） 1名

山田裕子

6 事務局

稲垣市長、清水課長、小川課長補佐、林工務係長、堀場主任主査、坂本主事
坂東課長、内田課長補佐、増田業務係長、松原主事

7 傍聴者

6名

8 公開・非公開の別

公開

9 議題

- (1) パブリックコメントにおける主な意見と市の考え方
- (2) スケジュール

質疑

《議題（１）について》

（資料２：パブリックコメントにおける意見と市の考え方）

①洲原公園

【委員】

先ほどご説明にもあったように、洲原公園の利活用のイメージとしては、桜広場は自然をいかしたというのと、誰でも、子どもから大学生、大人までを含めて全員が過ごせるような場にしたいという思いで考えていたので、自然、丘陵地をいかした遊具で遊ぶというのはとても良いと思います。

②刈谷市総合運動公園

【委員】

特色のある遊具等という事で良いとは思いますが、広場には何が他にあるかなという確認をさせていただいてよろしいでしょうか。遊具以外に何か広場にあるのか、遊具が結構大きな面積を占めているのか、広場がメインなのかという所を教えていただければと思います。

【事務局】

芝生広場は主に広場スペースがあり、大きな複合遊具や健康遊具を設置している。大きな広場の中に遊具があるイメージである。広場の面積は広いので、広場としても十分機能として使えるような状態である。

【委員】

「特色のある遊具等でのびのびと遊んでいます。」と変えるのも一つの案なんですけど、今の話聞くと、広場としても十分な機能を発揮できているので、その使われ方として特色のある遊具というのは一つの例示ではないかと思います。例えば、「特色のある遊具やそれぞれの楽しみ方でのびのびと遊んでいます。」とし、「それぞれの楽しみ方」の文言を残しておいても良いんじゃないかなという気がして発言とご質問をさせていただきました。

【事務局】

ご指摘のとおり、表現を修正していく。

③亀城公園

【委員】

亀城公園は家のすぐ近くの公園ではありますが、小さい頃よく遊んでたんですが、パブリックコメントが24件あって、21件くらいはお城の建設に反対だという、なんかどうみても偏っていないかなという印象を受けました。二つ違和感を持ったのは、一つが偏っていないかなという意見とですね、それから「30億、40億円かかっているのは使い過ぎだから、もっと他に回せ」という意見

があるが、私達この1年ぐらいかけて、二つのグループで話し合いをしてきたんですが、お城を再建しようと声高に叫んだ人は誰もいませんでした。みんなが使える公園、歩いて遊びに行ける公園、たくさんの人が使える公園にしようねっていうことは盛んに話しをしてきました。ただ、ここは歴史的なエリアでもあるので、歴史的な意味でお城が再構築されるっていうのには誰も反対はしていませんでした。

そんなことで、この24件というのを聞きした時に、やたら亀城公園は人気のあるものなんだなという感じがしました。そんな違和感があったのできちんと中身を読んでいくと、こうしたらどうだ、ああしたらどうだという意見があり、この1年間、皆で話し合ってきた内容とほとんど同じでした。こういうふうにしたい、ああいうふうにしたいというふうにやってきたことだと思っておりますので、現に亀城公園をこう作っていききたいなど。それと「歴史はいらないんだよ」という意見が一つ二つあったんですけど、お城なんかいないだけでなく、歴史を振り返ることはいらないんだよということがあったんですけども、刈谷は明治時代の少し前から、もっと言うと江戸時代の始まる時に、水野家が刈谷にいて、江戸を立ち上げる徳川の時代をつくる一人の立役者として活躍した。最後、幕末の時に、土井家が幕府を倒す立役者として活躍した。立ち上げる人と壊す人が両方いたんですね。つまり、時代の流れの先駆けとして動いている人たちが沢山いたのが刈谷であると僕は思っています。その先駆けとしてやってきた人達がどんな苦勞してきたのかということ、私たちは知りたいなという率直な思いがあるということですね。刈谷は特にトヨタ系が大きくなっていった時に、当時の金の卵といわれた中学生が九州や東北から沢山来ました。今でも流入する人口と自然に生まれる人口を比べると流入する人口の方が多いと思います。入ってくる人は沢山のいるんですね。その当時入ってきた人たちのお子さんや、お孫さんが今、多分小学生、中学生、高校生になっていますが、その子たちは自分たちのルーツがどうだったかということ、お父さんやお爺さん、お婆さんから聞かされていないんですよ。だからこそ、亀城公園には歴史博物館もありますし、歴史的なところもありますし、足を伸ばせば市原神社まであります。そういう所を見ていただくと、こういう所で刈谷が大きくなっていったんだよ。明治維新の時から刈谷が工業化に入っていて、精力的な人たちが沢山いたんだよと。だから、次の世代の人達も精力的な人になりなさいねということの話をしていただけると良いのかなと思って、歴史エリアという意味で亀城公園を整備していくことにはとても私自身関心が高くて、やって頂きたいなと思っています。ですので、この一年半かけた公園の検討をしていく中で、そういう偏った意見はありませんでした。

【委員】

亀城公園っていうのは沢山の公園の中で刈谷市のシンボリックな公園であると常に思っております。どうもこの構想だけでいくと、桜ぐらいが中心となるというような感じになってしまいますので、私が前からいっていたように、春夏秋冬いつでも亀城公園を訪れたい。例えば、春は桜で良い、夏は例えばお堀に睡蓮とか蓮とかやる。あるいはビオトープのようなものをやるか、秋は紅葉で、そういう風に色んなことをその中に落とし込んでおいて欲しいなと思うんですよ。構想として、そういうような公園にしたい。先ほど市長が御城印を示されたという事は、お城に対する色んな金額とか色んなご意見あるかと思いますが、それをもっと修正しながら、お城やら歴史的なものも作りたいなという市長の思いがさっきの御城印だと思います。いずれにしても、子どもたちに歴史っていうのがいないっていう人も中にはあったらいいですが、今後の未来の子供達に刈谷を愛する、ふるさとを愛するっていうのが、そういった歴史も含めて、刈谷とはこんなところだよと

いうのを示すというのが一つぐらいあっても良いんじゃないかなと強く思います。重ねて言えば、もう少し違うもので、この亀城公園に落とし込んで、将来こういう姿に向けていきたいなとなってもらえるといいなと個人的には思いました。

【委員】

偏っているかはともかく、反対されている多くの意見が民意を代表しているわけではなくて、今回何度もワークショップを繰り返されて、市民が自ら構想を作っていたという事において、これは一つの大きな民意の反映だという気がいたしますし、それにあえて訂正をする必要はないのかなというふうには思いました。ただ、パブリックコメントに対する答え方については、ちょっと微妙な点があるかなという気がいたしまして、特に意見というわけではないですけども、とにかく皆で夢を語りながら将来どんな公園にしたいことのイメージを構想としてまとめたものなので、実現可能かどうかというのはちょっと横に置いてる部分がある。石垣も隅櫓も、夢の提案のような気もするんですけど、他の所が例えば、構想実現に向けた取り組みを行う際の参考にしますとか、構想実現に向けて進めていきますみたいなことを書いてるのに対しては、幾分思いが強いせいか、書き込みが相当にしてあるんで、見られる方の中にはちょっとそこに反発を再度覚える方もいらっしゃるのかなという気がいたします。例えば、30番の意見の中で「なお、構想の実現に向けた取り組みでは、整備計画を策定するなかで必要な期間や費用などの課題を整理したうえで事業を進めます。」と言えばそれでよいかなという気がいたします。今回のパブリックコメントに対して、意見を拾うという姿勢に、非常にやっぱり住民の意見を聞きながらというところは素晴らしいと思います。

【委員】

亀城公園についてなんですけども、パブリックコメントだと刈谷城は反対だという話があるんだけど、中身を見てみると、お金がかかるから、そのお金がもったいないから他の所に使えという話が主にある。だから、お城自体は反対だということではなくて、お城にお金がかかるから、それをこういう今のコロナなどの段階で、他の所に回せやというふうにも理解ができる。私はどちらかというと、今の時代は、今だけ、金だけ自分だけの時代で、おじいちゃんおばあちゃん過去のこと全部捨てとけという自分だけ良ければよいという時代の中で、昔こんな厚い本で、「ルーツ」という黒人の、自分のルーツを探してったという、刈谷でもね、まさしくある意味何もない、こういう歴史的なものを、刈谷っていったいなんなんだ、昔から刈谷にいた人ね。外から来た人ではなく、昔から刈谷にいた人は刈谷ってどういう町だったんだと必ず過去をたどろうとする。それが人間というものは自分のルーツが知りたい。そこでここはお城があったという、刈谷の発展の原点でなっているから、ここから東の方に広がっていたという。だからお城はなくてはいけないかなと、私は歴史的なものを大事にする。ただ、いまお金がというのがあるから、ひとまず、ものを作るのではなくて、バーチャルでやって、スマホでやると出ますよね。まずは、バーチャルでここにお城があったことをみんなが分かってくれて、それじゃあやっぱり作った方がいいねと。刈谷市民のルーツを守るために誘導してくような形でも良いのではないかと思う。

これ見ると、お金だけの話をしてるから、40億かかる、50億かかる、これじゃあ刈谷の大事なものは何かという時に、やっぱりお城が核になるんじゃないかなと思うので、だから反対だからやらないというのは無しにしてもらいたいなと思います。

【委員長】

昔、中国の蘇州に行った時に蘇州って運河があって、きれいな街なんですけど、その運河を埋めちゃうんですね。なんで埋めちゃうかって聞いたら、文化大革命の時に埋めた。紅衛兵っていつでももうわかりませんよね。歴史が伝わらないですね。埋めてしまった。それでその後ですね、中国は蘇州の運河を元に戻しました。これは歴史だから都市の歴史だから。紅衛兵の時は誤りだ。だから元にお金をかけて戻したんですね。だから、時代時代によって多分価値観が変わるんだと思うんですよ。価値観が変わるんだけど、やっぱりさっきのルーツ、歴史、これを考えるのが人間だから、それぞれの国の人が考えてくれればいいんですけど、日本の建築の世界で明治6年に、国内学校に入って明治12年に卒業して英国に留学した辰野金吾という東京駅を設計した人がいるんですけど、彼がイギリスで建築の勉強をしようと向こうの先生が何を言われたかという、日本の建築は日本っていうのは文化のある国だそうだけど、日本の建築はどういう歴史があるんですかと聞かれて、答えられないんですよ。研究してないから。明治6年から12年の人ですけどね。その後、反省し今の東京大学ですけど、後輩が、日本の建築史を勉強するようになって東大寺とか法隆寺とか、そういうものの研究をして、現在残ってるんですよ。

刈谷城がある亀城公園は、愛知県が最初に都市計画公園と風致地区の指定をしたところなんですよ。愛知県最初です。公園の指定だけだとあります。風致地区の指定だけだったら名古屋市とか豊橋市とかあるんですけど、同時に指定したのは刈谷市だけなんです。なぜかと思うと、やっぱりその時のその刈谷町の人たち、あるいは行政の人たち、その思いがその都市計画で守っていかうということになったんだと思うんですね。だからそういうのを今後どうやって引き継ぐかという話をいただいたかなと思います。

もう一つ長岡っていうところがあって、市民会議の時にお話しましたが、長岡っていうのは豊川の出身の人が藩主です。長岡に行くと、三河弁をしゃべってる。上流の武士たちが三河からいつてるから。それで今お城があるか。ないんです。それは戊辰戦争の時に反対したから。長岡駅があるところが本丸の跡です。だから長岡の人達がずっと駅を移すわけにはいかないんで、お城のない城下町なんですよ。日本で唯一ですね。だから私も城下町生まれですけど、それぞれの思いがそれぞれの町の人を持っていると思います。今回は皆さん思いがずいぶん熱かったなと思って聞いておりましたが、広く意見を募ると、いろんな意見が有ると思います。

④岩ヶ池公園

【委員】

岩ヶ池を中心にした公園が出来るととても良いなと思っております。自然を考慮してここに書いてありますとおり、岩ヶ池の特色として自然豊かなこと、でPLAY&STAY（遊ぶ・泊まる・体験する）。本当にこれがあったら素敵な公園になると思いますので、是非ともこのまま進めていただいて、将来楽しみにしておりますのでよろしく願いいたします。

【委員】

ご意見いただいた方はできるだけ雑木林の保全をしてということで、適当に手を加えないで話なんですけども、まとめられた構想の方も、別にこれに反するものではなくて、自然を大切であるとして、しかもP.18を見ると、公園の未来のところには「自然環境を守りながら～」と言っている

し、その下の地域の森エリアでは市民参加の森づくりをするとして積極的に作っていくことをアピールしているの、同じことを言われているんじゃないかなと。回答の方にもせっかく意見をいただいたので、そのように努めて行きますよと伝えればよいのではないかと。

【事務局】

ご指摘のとおり、表現を修正する。

⑤フローラルガーデンよさみ

【委員】

フローラルガーデンよさみについてのご意見は、やはり色々な施設を入れて欲しいというのも多かったのですが、元々この狭い敷地の中に色んなものが入ってきていて、人はよく集まるんですが、ちょっと狭いというか、色々な施設を入れ過ぎているようなところがありまして、あと名前がフローラルガーデンよさみとなっているので、花のイメージをもう少し広げたいということで、花の丘やイングリッシュガーデンの拡大というふうになってきているんですけども。あと、送信所の歴史をPRするという意見もありまして、花の公園ということと、依佐美送信所としてのPRをもっと広げていきたいという公園だと思っています。ただ、その両方をやっていく時に、どちらを強く出していったらいいかとなった時に、やはり依佐美送信所はここにしかないの、送信所の歴史を優先して考えてもらえたらなという思いがあります。花の公園というのは他のところでもできると思うんですけども、ここでしかできないものを優先していつてもらえたらなというところですね。皆さんよく利用されているので、色んなご意見が有ると思うんですけども、それを上手くまとめていつてもらえたらなというふうに思います。

【委員長】

面積には限りがあるわけで、フローラルガーデンも行ってみるとお子さんたちが公園から溢れて遊んでいましたので、そっちから考えて、手を付けてほしいなと思う。依佐美の送信所のことを重視する人だとそっちを中心にしてほしいとおっしゃっているのもあって、それと自然の活用と自然を保全するという立場があつて、それを同じところで全部やろうとすると面積が足りないかもしれないということがあるわけですけど、それはそれぞれの市民の意見を反映しながら折り合っていくというか。つまり、この会議は皆さんの意見を頭からたたくという意見じゃなくて、良いところを伸ばしていこうと。皆さんが考えている、こうあったらいいなというのを整備にいかしていただいて、それをお互いのKJ法というのがあるんですけども、川喜田二郎さんという三重県出身の人がいて、アイデアを出すときにどんどんアイデアを出す。途中でそれを否定するとアイデアが出なくなる。だから一切否定しないで、どんどん出してみ、それで話しをしてみて、合意できるものは残していくというやり方なんです。それは最後までいって合意が出来ないものもあるかもしれませんが。皆さん、今日それぞれの立場を思っ自分の主張を飲み込みながら、他の方のご意見も尊重してたかなと私は思っております。その結果が今日報告をされているようなものなので、今、皆さんの意見をまとめると、基本的には、付け加える二点ですね。賛成かと思うんですが。

先ほど事務局からお話がありました、お城なんか私、整備関係しています。刈谷城は関係していませんけど、その際に問題があるのは、文化庁が言ってるのは復元再建、復元をする。それから復

元的再建、それは資料があるかどうか。刈谷市が考えるとしてはそこですね。復元ではなく、多分、資料が完璧にあるわけじゃない。これはもう名古屋市ぐらい、名古屋城ぐらいです。あとは復元的な再建に。それすらない清洲城みたいなところ、清洲城なんかあるのかな。書籍があるかもしれませんが、全然違うものを作っていますね。文化庁の視点では、これはその他なんですよ。ですから、刈谷城はその他ではないので、そこをどういうふう考えていくか。

だから、実際にどこの公園を整備するのも実際、お金がかかるとか、さっき委員が言って頂いたお金がかかるとか、いつまで作るんだとか、そういうものを議論しますと、アイデアが出ないわけですね。日本の行政の計画っていうのは予算ありきなんです。市民もいつ作るんだとすぐ聞くわけです。多分、議員さんも同じですね。いつまで作るんだとそんな夢みみたいなことを行政が出してもいいのかっていうことがあると思うんですけど、今回の計画は実はそういうことをやめて、お金とかそういうものを考えないで、期間も考えないで将来を含めた構想を作って、その合意を得ながら実現していく。名古屋城の本丸も今そうなってるんです。名古屋城の全体は、今後どう整備するかって実は計画を作りました。2年ぐらい前に。いつできるかっていうのは決まってませんよ。決まってないんですけど、一つずつ調査をしながら、お金も考えながら、100年ぐらいかかるかもしれませんが、長らくの場合は。それを整理していけば、100年後に日本で素晴らしい城址が実現するという考え方です。ですから、日本の町の作り方はそうなりつつある。だからそれができるのは歴史があるところだけ。

歴史がないところは違う歴史を大切にしていくということになるかと思いますので、今後事業化になるとすると課題を整理しながらですね、行政の方で進めていくようになるかと思います。ちょっと私見が入りましたが、本日の確認をしたいことは皆さまのご意見踏まえて、事務局から提案がありました2つのこと、構想の文言の修正を確認させていただきたいというところで、このことでよろしいでしょうか。ありがとうございます。

《議題（2）について》

説明（資料4：スケジュール）

意見なし。

その他

【委員】

全体を通してということなんですけれども、まず一つは改めて、刈谷市というのは現段階でも非常に公園に魅力があるなと感じています。また、一年間、皆さんにお話していただいたプロセス見ると皆さんの公園に対する意見とかその思いというのは非常にあるなということで、改めてこういうことがすごく大事だなというふうに思いました。これから実現して行く時に、こういうことでまた人の流れもできて、それで町の発展にも繋がるといいんじゃないかなというふうに思いますので、とても良い活動ですので、これからみんなで話し合うということも、引き続きやっていくといいなというふうに考えます。

【委員】

これは今後実現するにあたって、我々企業、あるいは世間でもよく言われてるサステナビリティという、これを作ったから作ったら終わりじゃなくて、これが本当に永遠に残っているもの。例えば歴史もありますけれども、歴史としてどんどん残していくんだ。30年後、あるいは50年後、100年後この公園をこうした、こういうことに手を加えたってことが本当にずっと続くように、あるいはまたそれが継続できるようにといったことも大きな観点かなと思いますので、また実行段階でそんなことをご議論いただければというふうに思います。

【委員】

私は、この一年間だけ参加させてきました。初めからの参加してるわけじゃないですけども。2回ほど話を聞きまして、なかなか皆さん熱意を持った話が進んでるんだと、これは本当にそう思います。いろいろずっと聞いていますと非常に素晴らしい構想だと思っています。これが早く実現してくれることを非常に楽しみにしています。5年から10年、下手したら20年ぐらいかかるかと思わないでもないですけど、非常に楽しみにしています。来年からちょっと出れませんが、どういうふうに進むか楽しみにして、見守っていたいと思います。

【委員】

何回か意見を言わせていただいたんですけど、公園ができるのを楽しみに思ってますし、私は岩ヶ池公園の近くに住んでますので、早く岩ヶ池公園が整備されるのを楽しみにしているつもりでございます。

【委員】

よく住みやすさランキングという都市が色々ある、その中に当然学校がどうであるとか、病院がどれくらいあるかという中で必ず緑と公園が入ってきてですね、住みやすさランキングで刈谷市って結構上だったと思う。そういった意味ではやはり緑っていうのは、人間の心の安らぎを与えるものであると思う。刈谷市の歴史的な背景をよく知ってもらい、私もさっき言いましたけども、子供達にもっと故郷の愛着を持ってもらいたいし、いろんな意味でそれぞれの公園の特色を生かしながら、人に素晴らしい、そういういったものが出来ると良いなと思っています。

【委員】

スポーツの観点から私ちょっと考えてみますと、総合運動公園あるいは刈谷市体育館、集客から行くと、すごい人数が来ていただくチャンスだと思います。しかし、見てみますと、来てもすぐにお帰りになる。楽しみがないそこだけです。こういう感じになってますので、今 B リーグなんかでもいろんなイベントをして、ただ試合だけじゃないよ、色んなものがあるんだよということで滞在時間も長いし、楽しみ方も多様化しています。そういったことでたくさん来てくれる行事の中で、何かをもっと盛り上げていくと刈谷の知名度も上がりますし、一番が楽しみになるぞというふうになるんじゃないかなと私は思いますので、そういうことも併せて考えていただけるとありがたいなと思います。

【委員】

私は去年からですね、課長の代理として 2 年間参加させていただいて、最初本当に 5 公園同時にやれるのかなというところから、本当にそれは素直な感想でございましたが、市民の皆さんの積極的な参加とかですね、今日の会議のメンバーの方とか、瀬口先生はワークショップの方に出られたということで、夏の発表も聞かせていただいて、とっても良い魅力ある公園の将来構想ができたなと思っております。また、パブリックコメントも、件数として 29 人で 58 件ということで、市民の関心の高さというのも、この数字を見ても、一部反対意見もありますけれども、市民の公園に関する期待が高いなということで、これから刈谷市さん、市民の皆さんが期待していることでしっかり進めていただけたらなと思いますので、よろしく願いいたします。

以 上